

主な業務の執行状況

| | 件名 | 執行状況・経緯 | 内容 |
|---|-----------------------------|--|---|
| 1 | 各種申請の認可に関わる事項 | ① 2018年度拠出金単価、2018事業年度予算及び資金計画の変更 ・6月12日 経済産業大臣による認可 ・6月29日 拠出金の収納 ② 2017年度財務諸表 ・6月11日 経済産業大臣に申請 ・6月29日 経済産業大臣による承認 | ・経済産業大臣に認可申請（5月29日）していた左記項目について認可を取得。 ・同日、特定実用発電用原子炉設置者に対し拠出金単価を通知。 ・前年度に使用済燃料が発生した関西電力、四国電力、九州電力から拠出金を収納（約886億円）。 ・第27回運営委員会（6月8日）の議決を受け、2017年度財務諸表を経済産業大臣に申請、承認。 |
| 2 | 日本原燃への使用済燃料再処理役務等の委託に関わる事項 | ① 契約履行 ・6月14日、7月9日、8月1日 原子力規制庁に提出した事業者対応方針の実施状況等について日本原燃から聴取 ・7月11日、12日 日本原燃の品質保証活動の状況（返還廃棄物受入・貯蔵管理）を確認 ② 事業変更許可補正申請に向けた取組み確認 ・7月9日、19日、8月1日 再処理施設等の今後の審査対応の見通し等について日本原燃から聴取 | ・日本原燃から、以下の取組み等について確認した。 - 設備の全数把握及び状態確認について、高所・狭隘部を除いて6月15日に全て完了。 - 上記を含む事業者対応方針の実施状況や前回保安検査で指摘された保安規定違反<監視>の是正処置状況等について、原子力規制庁の保安検査（5月14日～6月11日）を受けた。 ・機構としては、引き続き、日本原燃の保安規定違反の再発防止対策を含む改善活動の取組状況を確認するとともに、確実な実施を促していく。 ・立入調査により、返還廃棄物受入・貯蔵管理に係る日本原燃の品質保証活動が品質保証計画書に沿って概ね適切に実施されていることを確認。 ・日本原燃から、以下の取組み等について確認し、しゅん工に向けた許認可への対応や工事の計画的な実施に加え、保守管理の強化や技術力の向上等、安全・安定操業に向けた取組みについても計画的に進めていくよう促した。 - 7月6日に審査会合（施設）が開催され、日本原燃より降下火砕物影響評価、航空機落下再評価および品質保証活動体制等について説明。 - 7月13日に審査会合（地震等）が開催され、日本原燃より十和田火山に関する新知見等について説明。 ・機構としては、原子力規制委員会への対応状況を注視していくとともに、都度、しゅん工に向けたスケジュールや取組みを工程管理の一環として確認していく。 |
| 3 | 2018事業年度第1四半期収入・支出の報告に関わる事項 | ・7月26日 2018（平成30）事業年度第1四半期の収入・支出を経済産業大臣へ報告 | ・財務会計省令第13条に基づき、第1四半期の収入・支出について、合計残高試算表により経済産業大臣へ報告。 |